

● エラーメッセージについて

コピー実行時にエラーが発生すると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

- 「メディアに空き領域が無いため、終了しました」

転送先のメディアよりもコピーする容量が大きい場合に表示されます。メッセージが表示されたときは、メディア容量いっぱい書き込まれてコピーが途中で終了しています。続けてコピーをするときは、新しいメディアを入れ、再度コピー操作をしてください。

- 「転送エラーが発生しました」

メディアが挿入されていなかったり接続されていない場合は、転送エラーが表示されます。メディアが挿入されている、または接続されていることを確認してください。
また、挿入したDVDにすでにデータが書き込まれている場合、転送エラーが表示されます。データが書き込まれていないDVDと入れ換えてください。

- 「開始位置、終了位置が正しく設定されていません」

開始位置、終了位置の時刻を逆に入力した場合に表示されます。正しく再設定してください。

- 「該当なし」

録画データがない時刻やカメラを指定した場合に表示されます。

■ 保存したデータを見るとき

● PCの動作条件と画像データについて

OS：Windows 2000/XP

CPU：Pentium2 400 MHz 以上

メモリー：64 MB 以上

ハードディスク空き容量：10 MB 以上

画像データ（JPEG ファイル）は720×240のサイズで保存されます。

コピー時に同時にダウンロードされる専用のビューアソフトで再生すると、720×480のサイズに変換して表示します。

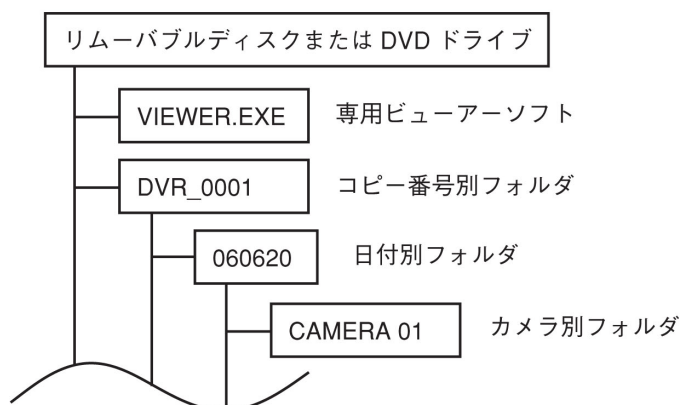
● フォルダ構成とファイル名

ご注意

- DVD コピー時のフォルダ名・ファイル名は、タイムゾーン設定（ P. 91 「ネットワーク設定」）を参照しています。タイムゾーンの設定をが正しく行わないと、フォルダ・ファイルの作成日時は、正しく表示されません。
- サマータイム期間中の録画データをコピーすると、フォルダ名・ファイル名は標準時間で作成されます。サマータイム時間に置き換えるには、+1 時間してください。
- コピーするメディアによりビューアーソフト名称が異なります。

USB メモリー：VIEWER.EXE

DVD メディア：ResizeViewer.exe



専用ビューアーソフト：コピー時にダウンロードされる専用のビューアーソフトです。コピー画像をリサイズし、連続再生やコマ送り再生、改ざんチェック機能があります。

コピー番号別フォルダ：コピー実行時に開始、終了時刻を複数指定するとフォルダを分けることができます。USB メモリーの場合、追加するときにはコピー番号別フォルダがあると、最も大きなフォルダ番号に+1したフォルダを自動で作成します。フォルダ番号は、0001～9999となります。

日付別フォルダ：フォルダ名称で“年月日”を表します。コピー指定時に日付が変わる場合は、フォルダが分かれます。

- (例) 06 07 20 ① 西暦下 2 桁で表示されます。(01～99) 例は、2006 年を表します。
□ □ □ ② 月を表示します。(1～12) 例は、7 月を表します。
① ② ③ ③ 日を表示します。(1～31) 例は、20 日を表します。

カメラ別フォルダ：カメラ番号別でフォルダを分けます。9 局の場合、フォルダ番号は 01～09 となります。(16 局の場合は 01～16) また、この中に JPEG ファイルが保存されます。

ファイル名：ファイル名で“時、分、秒、画像番号”を表します。拡張子は.JPG です。

- (例) 13 05 49 08 .JPG ① 時間を表します。(00～23) 例は、13 時を表します。
□ □ □ □ ② 分を表します。(00～59) 例は、5 分を表します。
① ② ③ ④ ③ 秒を表示します。(00～59) 例は、49 秒を表します。
④ 同時刻の何枚目かを表します。(01～60)
カメラ毎に設定する録画レートにより枚数は変わります。
例は、8 枚目を表します。

● ビューアソフトによる再生

PC でコピー画像を見る場合は、以下の手順で行ってください。

1 記録したメディアを PC に挿入する。

USB メモリーまたは DVD メディアを挿入します。

2 PC のドライブよりメディアを選択し、ダブルクリックする。

3 メディアの中のビューアソフトを選択し、ダブルクリックする。

ビューアソフトが起動します。

4 画面右下の をクリックする。

ファイル選択画面が表示されます。

5 カメラ別フォルダか画像ファイルを選択し、「OK」をクリックする。

画像が表示され、フォルダ名とファイル名が表示されます。

ご注意

カメラ別フォルダに画像ファイルが多数入っている場合、フォルダを開くのに時間がかかります。このときは、カメラ別フォルダを開かず、フォルダを選択してください。

6 画面左下のボタンを使用して画像を見る。

: 逆再生ボタン

逆再生をします。

: 逆コマ送りボタン

逆コマ送りをします。再生、逆再生中に押すと一時停止します。

: 順コマ送りボタン

順コマ送りをします。再生、逆再生中に押すと一時停止します。

: 再生ボタン

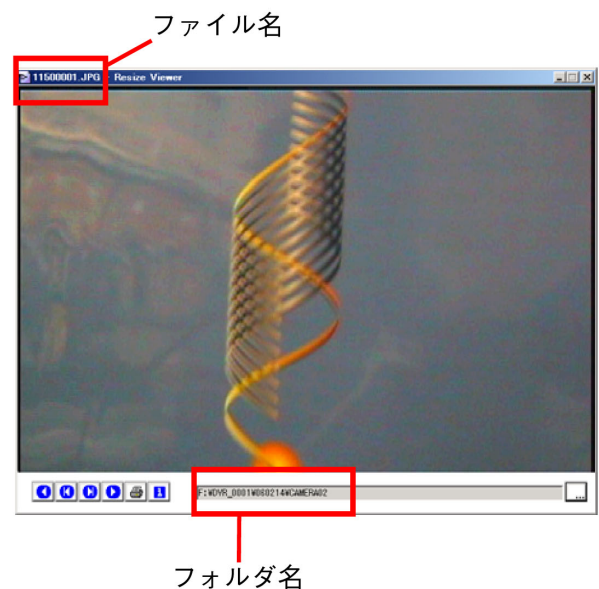
再生をします。

: 印刷ボタン

表示画像を印刷します。

: 改ざんチェックボタン

改ざんチェックをします。



ご注意

- 再生（逆再生）すると、エンドレスで再生（逆再生）します。
- 録画時間にかかわらず、10 枚／秒の速度で再生（逆再生）します。
- 10 枚／秒が標準ですが、PC の性能により異なります。また、改ざんチェック中は遅くなることがあります。
- カメラ別フォルダに画像ファイルが多数入っている場合、フォルダの先頭画像から逆再生を始めるのに時間がかかることがあります。フォルダを分けてコピーすることをお勧めします。

● 改ざんチェックをする

ビューアソフトには、改ざんチェック機能があります。データに改ざんがあるとエラー画面を表示します。改ざんチェックボタンは一時停止中のみ押すことができます。

1 一時停止中に改ざんチェックボタンを押す。
押すと改ざんチェック機能が有効になります。

2 再生ボタンまたは逆再生ボタンを押す。

[USBメモリーの場合]

画像1枚ずつ改ざんがないかをチェックします。改ざんがなければ何も表示されません。
改ざんされた画像があるとエラー画面が表示され、改ざん画像で一時停止されます。

[DVDメディアの場合]

本機でコピーされたDVDであることをチェックします。改ざんがなければ何も表示されません。
本機以外でコピーされたDVDはエラー画面が表示され、一時停止します。



ご注意

PCにパケットライティングソフトがインストールされている場合は、Drive Letter Access (DLA) を無効にしてください。改ざんチェックが正しく動作しません。(DVDドライブのプロパティより、DLAタブの「ドライブのDLAを有効にする」のチェックを外してください。)